大阪大学経済学研究科/経済学部

部局間協定校派遣生の海外留学体験

１．基本情報

体験談記入日（☆）	2025 年　　６月　27　日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	経済学部　経済経営学科
留学時の学年（☆）	２年生～３年生
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	☑交換留学　　□　研究留学助成金 □　その他　（　　）
渡航先国名・地域名（☆）	台湾
滞在都市（☆）	台北市
留学先大学等名（☆）	国立政治大学
留学先での所属学部/研究科（☆）	社会科学院経済学系
留学先で主に使用した言語	中国語、英語、日本語
渡航先への入国日（☆）	2025 年　　２月　８日
渡航先からの出国日（☆）	2025 年　　６月　25　日
渡航先国での滞在期間（☆）	約 4 か月半
同伴者の有無・続柄・年齢等	なし
その他	

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称	Mandarin-Course Parttime Applied Mandarin
履修期間	Spring season
授業時間（〇分×△回）	180 分×（16＋２）
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	３
履修科目名称	Intermediate Accounting
履修期間	Spring season
授業時間（〇分×△回）	180×18
授業形態（講義・セミナー）	セミナー
取得単位数	３
履修科目名称	Fundamental Accounting
履修期間	Spring season
授業時間（〇分×△回）	180×18
授業形態（講義・セミナー）	セミナー
取得単位数	３

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Macroeconomics Spring season 180×（16＋２） 講義 ３
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Money and Banking Spring season 180×（16＋２） 講義 ３
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	

成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	私が取った授業はテストがメインで評価されました。課題よりもテストの勉強がしんどかったです。
履修科目の制限等（あれば）	特になし
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	英語で開講されている授業は本当に多いです。興味があれば経済学系以外の授業も受けることができます。英語で開講されている科目は本当に英語オンリーでした。
語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等)	特になかったですが、テスト前は必ず先生がオフィスアワーを設けてくれるので質問などできます
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	特にないです
その他	

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	本屋などあります。食堂もありますがあまりおいしくないので外で食べることが多いです
図書館について	21:00 まで開いてます。
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	大学提携の保健センターがありました。
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	留学生も参加出来るところあります
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	学部に頼むと現地バディをつけてくれました
オリエンテーション等学校主催の行事について	台湾の警察、消防の電話番号や保健センターの場所を教えてくれるオリエンテーションが学期始めにありました
現地の学生との交流について	交流会などで友達たくさん出来ました
他の留学生との交流について	寮や中国語の授業で友達になりました
学外での活動について(地域コミュニティー活動等)	台湾の日本人交流会に参加しました Instagram ID:arch_taiwan
長期休暇中の過ごし方	台湾旅行
その他	

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	停留ビザ
ビザの取得手続について(申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	半期と一年間でとるビザが違うので注意してください 台北駐大阪経済文化弁事処に必要書類を準備して行きます。 申請して一週間後に再訪すると受け取れます
利用航空会社	エバー航空

入国の際の現地空港名	台湾桃園空港
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	そのまま寮に直行しました。電車を乗り継ぎましたが、かなり大変だったのでタクシーをお勧めします。 （台湾タクシー安い）
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	ビザを提示すると「study？」とだけ聞かれました。特に困ることはなかったです
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	半期の留学なら更新などは必要ありません。
その他	

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	☑有　　無
奨学金名	
奨学金月額受給額（円）	入国時に八万円
入国時に用意した金額	30 万円くらい
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性）	クレジットカードのエポスカードを使用して現金キャッシングしていました。手数料はわりとかかりました。台湾は現金のみのレストランが多いので、デビットカード or クレジットカードで現金キャッシングするか、入国時に数十万円を持ち込んで台湾ドルに両替することをお勧めします。
留学中に利用した銀行名	利用なし
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	しなかったです
ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	使用なし
日本からの送金方法について	日本の銀行口座を使用していました
1ヶ月の生活費（目安）	家賃含まずに九万円くらいです。（私はご飯節約しなかったです）安いお店に行ったり節約すれば五万円くらいに抑えられると思います。
その他	

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類(学生寮(一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等)	Ihouse(国立政治大学の留学生専用の寮)で一人部屋を選びました。（二人部屋を選ぶことも可能です）
家賃	１セメスターで NTD45,500/person（約２０万円）doubleroom

	を選ぶと NTD29,750/person です。少し高いですが、電気代と水道代も込みですし寮もきれいなので満足です
住居を探した方法・時期	留学開始の２、3 か月前くらいに大学から「寮どうしますか」とメールがあり ihouse や別の寮（国立政治大学には値段とクオリティが全然違う寮がたくさんあります）を選んで予約できる形になっていました。
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等	キャリーバッグとリュックサックを持ち込んで、持って帰りました。国際郵便を使う人もいました。大学の傍に郵便局があるのでそこに持ち込むらしいです。
その他	国立政治大学の寮は本当に色んなタイプがありますが、安易に安いタイプを選ぶことはお勧めしません。水周りなどかなり汚いらしく、耐え切れずアパートに引っ越した人もいるそうです。

５．２　食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	外食がメインでした。Ihouse は共同キッチンがついているので私も電子レンジだけはよく使ってました。
1 ヶ月の食費	四万円～五万円
その他	

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	Line 電話を使うことがほとんどでした。
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	Ihouse には wifi が各部屋に元から備わっています。特に困ったことはなかったです。大学の WIFI はあまり強くなかったため、スマホで wifi をきることも多かったです
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	日本からパソコンと iPad を持ち込みました。」
郵便について	使用なし
交通機関について	MRT（地下鉄）やバスをよく使いました
治安について	特に困ったことはなかったです。私は一人でよく夜に散歩していました。
保険について	大学入学時の coop 保健に加入していたので、新たに契約することはなかったです。
医療機関・薬について	日本から大量に薬持ち込んで、熱が出たときはその薬を飲んでやり過ごしていました。
気候と服装について	二月、三月はわりと寒い日も多いので羽織るものが必要でした。五月後半からはとにかく蒸し暑いです
普段の買い物について	大学近くのドラッグストアによく行きました。台北の中心部

	には GU やすきやなど日本のお店も多数あります。
娯楽・行事について	友達と遊びに行くことが多かったです。スイッチを持ってきている人もいました。
日本語の使用について	私の友達の台湾人はみんな日本語が上手だったため、その友達とも日本語を使うことが多かったです
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	日本製の化粧品は台湾で買うと高いので持ち込んでおいて良かったです。薬も日本語表記のものの方が安心なので心配な人は持参することをお勧めします。中国語学習のために中国語の教科書を持参すればよかったなあと思っています。
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	エポスカードの海外キャッシングのインターネット申請を日本で行えば良かったです。申請が必要だったことを知らなかったので留学当初散々な目に遭いました。
その他	台湾のレストランでは日本人は台湾人と間違われて中国語で話しかけられることがほとんどです。中国語がわからないときは「sorry？」と中国語が話せないことをアピールしてください。

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	就活アプリをダウンロードした以外特に何もしなかったです
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	オンラインの会社説明会によく参加しました。台湾と日本の時差は一時間なので全く問題なかったです。サマーインターンの選考も今はオンラインがほとんどだったので特に困ることはなかったです。強いて言えば多くの会社の締め切りが大学のテスト期間にかぶってるのでインターン応募の時間があまりとれなかったです。

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	英語のリスニングとスピーキングを集中的に学習していました。お勧めは独り言をブツブツと英語で唱えることです。中国語の学習はほとんどしなかったです(笑)
留学中の学習方法、工夫したこと等	私は英語がかなり得意なほうだったので英語で困ることはなく、現地でのコミュニケーションのために中国語を自学していました。Youtube でＨＳＫ対策の動画を見たり、台湾人の友達

	の前では中国語を話すことを心がけていました。
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	中国語は半年で初心者レベルからＨＳＫ４級レベルにまで上がりました。授業は全て英語、留学生の友達ともよく遊びに行ったのでリスニングとスピーキングで困ることはほぼなくなりました。

８．その他

留学して得られたこと	周りの人に頼る力、語学力、精神力
留学中に困ったこと	現金がなかったこと
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	先輩方の留学体験談はよく見ました！！

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。

私は英語が好きで、高校生の頃 ALT の先生とかかわっていく中で国際交流にも興味を持ち留学に行きたいと考えだすようになりました。英語系の学部にいくことも考えましたが、自分の専門を持ちたいということでこの経済学部に入学しました。入学後、学部間留学の存在を知り応募を決意しました。台湾を選んだのは消極的な理由でした。他の協定締結校の交換留学期間だと就活に被り、国立政治大学のみ就活の前に帰国できるからでした。

国立政治大学は台北の郊外に位置する大学です。そばには川が流れていて、夜にその土手で散歩するのが大好きでした。数多くの大学と締結を結んでいて多くの留学生がいるのも国立政治大学の特徴です。英語で開講されている授業も多く、かなり自由に授業を選ぶことができました。私はテストがかなり重ための授業を選んでしまったので、中間テストと期末テスト前はかなり大変でした(笑)。しかし、どの授業も頑張れば手の届く内容だったので、テスト勉強や授業を通じて景気と利率の連動などかなり理解が深まりました。一つの授業で習ったことが他の授業の理解に役立った時など特に嬉しかったです。台湾で初めてフル単しました(笑)

台湾では本当にたくさんの出会いがありました。中国語の授業が一緒で同じ寮に住んでいた友達は今度大阪に来てくれます。私が取った授業は全て先生が講義をする形だったので中国語以外の授業で友達を作るのは難しかったです。グループでプレゼンテーションをする授業も取ればよかったなあと思っています。また、台日交流会という国立政治大学の学生と日本人の交換留学生限定のサークルに所属していました。そこで出会った台湾の友人は本当に日本語が上手で、優しくて、一緒にご飯を食べたり、観光名所に遊びに行ったりと

台湾での思い出をたくさん作ることができました。感謝してもしきれません。留学後日本にも遊びに来てくれて、大阪で一緒に遊んだのも楽しかったです。

台湾で一番大変だったのは、トイレと食事でした。台湾は基本トイレットペーパーを流すことはできないので使用済みトイレットペーパーはゴミ箱に捨てるしかなかったです。地味にストレスでした。台湾はご飯が美味しいとよく言われますが、自炊が好きな私は毎食出かけないといけないところや美味しいものは少し高いことが少ししんどかったです。

人間関係での悩み、異国での慣れない生活に精神的にちょっと疲れることもありますが、全力で駆け抜けた自分に自信もつきました。留学したいけど、金銭的に不安な方、日本から離れすぎるのは怖い方に、台湾は本当におすすめの国です。日本人であるだけで歓迎され、興味を持ってもらえる、夜も一人で散歩できるような所はなかなかないはずです。また旅行で訪れたいなあと思っています。台湾で短い間でしたが留学生活を送れて本当に幸せでした。